

# 未来構想キャラバン つくば市長との意見交換会

第2回  
周辺地区  
子育て世代

発行日：令和元年9月

編集・発行：つくば市 政策イノベーション部 企画経営課

## ◆子育て世代の皆さんと市長がまちづくりを語るキャラバンが開催されました！

つくば市では、今後10年間の総合的な指針である未来構想の策定にあたり、市長とつくば市内周辺地区にお住いの子育て世代の皆さんが、まちづくりについて意見交換をするキャラバンを開催しました。

子育て世代の皆さんからの、貴重な意見をご紹介します。

日時：令和元年9月24日（火）15:00～16:30

会議場所：子育て支援センター

参加者：12名（事務局含まず）



## ◆主な意見交換内容

### 1. 子育てをされていて感じていることや子育ての地域差について



つくば市内の子育て世代の皆さんから、子育てをされていて感じていることやつくば市内の子育ての地域差について伺いました。

#### 子育てについて普段から感じていること・問題点

- 周辺地区の子ども達には、放課後に集まれる「たまり場」が少ない為、思うように遊ぶことができていないのではないかと感じている。
- 子ども達の「たまり場」として、学童以外に複数の選択肢があると良い。
- 産後の女性は社会から隔離され、孤立感に苦しむことが多い。人と繋がり難い環境も、子育てのしづらさに結びついているのではないかと感じている。子育て支援施設等への動線の見直しを含め、公共交通（つくバス等）の利便性が改善されると、交流の機会が増えると思う。
- 車を持っていなくても子育てしやすい環境を整えてほしい。
- 以前に比べて、産後サポート（産褥ヘルプ含め）が充実してきているが、改善が必要な点（サポート期間等）もある。見守る仕組みがあるだけでも安心できると思う。



#### 中心地区と周辺地区の違いについてどう感じているか？

- 中心地区と周辺地区では文化の違いがあると思う。例えば、教育に対する考え方にも隔たりがあると感じている。
- 各地域コミュニティの性質の違いからくる戸惑いも多い。コンパクトシティの考え方は周辺地区の制度と合わないことも多くある。周辺地区の特色を活かした新しい仕組みを考えて欲しい。
- 周辺地区に引っ越しても、地域のコミュニティが形成されており、入りにくい。コミュニティ形成のきっかけにもなる「たまり場」があると良いと思う。「たまり場」はふらっと立寄れる場所にあるのが理想で、私有地（空き地）にはその可能性があるのではないかと感じている。



### ◆お問合せ◆つくば市役所 政策イノベーション部 企画経営課

〒305-8555 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1 TEL 029-883-1111 / FAX 029-828-4708

\*未来構想に関する質問・意見は、政策イノベーション部企画経営課のメールアドレス（pln010★city.tsukuba.lg.jp）まで（なお、メールアドレスの★は、@記号に置き換えて下さい）

## 2. フリートーク - つくば市に望むこと・期待すること -

子育て支援の環境や学校教育について、子育て世代の皆さんから意見をいただきました。また、いただいた意見に対し、市長から今後のつくばのまちづくりについてお話しいたしました。

### 参加者からの意見

- 学校教員の待遇改善についてはどのように考えているのか。児童数に比べ、教員が不足している。少人数学級等、教員にゆとりを持たせることが必要ではないか。
- 学校のルールづくりについて、子供達が主体的に関われる環境になれば良いと思う。
- 空き地（私有地）について、公園等のたまり場づくりに活用できないか。私有地のまま地域に開放できれば良い。
- 商業施設等の生活に密着している施設内にたまり場（支援センター等）をつくることで、気軽に集い、繋がりをもつことができるのではないか。
- 放課後の子供達のたまり場は必須だが、現在の方針（寄道禁止）では活用するのは難しい。仕組みを見直す必要がある。

### 市長からの回答・意見（一部）

- 教師の働き方改革を段階的に進めており、10月頃には改革案を公表する予定である。
- 教育大綱において、管理から自己決定への転換について言及している。子供が主体的に動ける環境に変えていく必要があると思う。
- 空き地の利用について、地域が主体となって運営できる仕組みを考えていく必要がある。
- 子育て拠点と商業施設が共存できる仕組みを考えていく必要があると思う。
- 子供の見守りについて、学校のみならず保護者・地域・行政がそれぞれできることを考える必要があると思う。

## 3. 振り返りシートのご意見

最後に、キャラバンに参加された皆さんに振り返りシートをご記入いただきました。「多様な意見が聞けた」「市長と話せてよかった」などのキャラバンの開催に対する前向きな感想とともに、今後のつくば市で取り組んでほしい事柄についてご意見をいただくことができました。

### ○：よかったと思うこと

- 市長から詳しく未来構想を伺えたこと。様々な立場の方のご意見を聴けたことで、つくば市での問題点やこれからの可能性や方向性について考えることができた。
- 周辺地区について、市長が様々な対策をしてくださっていることが伝わってきた。また、他の方の意見を聴くことができる貴重な時間だった。
- すごく面白かった。市長に直接伝えられるので、このような場が本当に大切だと思った。

### △：よくなかったと思うこと

- 時間が足りなかったことが残念。
- 話題が広すぎてテーマに関する意見交換が足りないように感じた。
- 市長と市民という形よりも、担当課職員・市長・市民が平場でディスカッションするような形式にする方が、議論は深まったのではないか。

### □：十分に話せなかったこと

- 各地域に繋がりやすい拠点が、活用・行きやすくなると良いと思う。中心地区、つくば市役所等で子育てを支援するイベントがあると、たくさんの方が交流できる場になるのではないか。また、社会全体で子育てを支援していくことも大事で、ぜひ環境を整えて頂けたらと思う。
- プレイパークについて。子供にとっての最善の形になることを望んでいる。
- 中心地区と周辺地区での子育ての違い等にも注目してみると面白いと思う。高校についても今後のテーマに良いと思う。



- 子育て拠点になりうる商業施設のあり方。
- 待機児童問題について。子育てに夢中になる環境、仕事に復帰しやすい環境、仕組みがあると良い。
- 自治会のあり方について。

### ☆：自由意見

- 育休が取得しやすく、復帰後のキャリアにも影響しないことは、安心してつくばに暮らし、子育てできる環境として重要であり、期待している。
- つくば市は広すぎるために施設が遠くになりがちで、特に子供が通う場所は、通いやすい場所を確保して頂けると助かる。
- 転入者でも、市の様々な立場の方の意見が気軽に聴ける場があって良かった。
- 学校帰りの時間を子供に取り戻させるための拠点づくり（人員育成）と制度的な阻害要因の洗い出しをして欲しい。
- 廃校を活用し、オルタナティブスクールを設置（又は支援）し、子どもたち一人ひとりにあった教育の実施や不登校児の受け皿を目指してはどうか。